

2014年4月1日から2024年3月31日に、当院で採血および手術を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：サイトグロビン発現と膵臓癌の予後との関連に関する検討

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2024年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部 外科学講座第1教室 准教授 河野 寛

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開します。

【研究の目的と意義について】

近年、膵臓癌は罹患率ならびに死亡率とも増加の一途をたどっていますが、その予後は未だきわめて不良であります。その理由として、有効な集学的治療、特に有効な抗がん剤治療が確立していない点あげられます。膵臓癌はがんの間質（stromal cell）、すなわちがん関連線維芽細胞（CAF）が70%を占めており、他の消化器癌とは異なる性格を有しています。したがって、これまでとは異なった視点である、がん間質組織の腫瘍病理学的な特性を検討することは、膵臓癌の予後改善を目的とした新しい治療法の開発へつながることが期待でき非常に重要であります。これにより、膵臓癌の予後改善の実現に大きく貢献するものと考えております。

【研究の方法について】

- ① 膵臓癌患者におけるサイトグロビン、ならびにサイトグロビンとの関連が報告されている、Akt、PI3K、IL-6、VEGFの発現に関して免疫組織染色法にて測定します。
- ② 予後改善効果の検討
膵臓癌術後再発までの期間と膵臓癌関連の生命予後を検討します。

【利用する試料・情報について】

〈対象となる患者さん〉

膵臓癌の患者さんで、2014年4月1日から2024年3月31日の間に採血および手術を受けた方

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ

試料：手術検体ホルマリン固定標本

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録及び余剰検体より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する試料・情報の利用者は、本学医学部附属病院検査部および本学大学院総合研究部医学域臨床医学系（外科学講座第1教室）の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、測定にあたり費用が必要な測定項目なく、診療録の情報及び保険診療内で施行された検査結果で検討が可能である。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は電話にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は電話にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部 外科学講座第1教室

准教授 河野 寛

メールアドレス：hkouno@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-1111